バックナンバーはこちら

ＪＡ全農ちば

営農情報集

2026
10

今月の情報

Ⅰ.　園芸野菜　病害虫防除情報

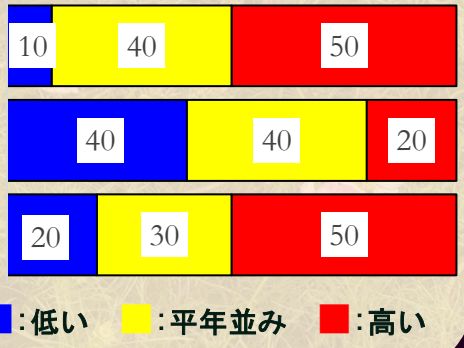
Ⅱ.　果樹（ナシ）病害虫防除情報

Ⅲ.　安全な農作物生産の取り組みについて

Ⅳ.　第５１回ＪＡグループ千葉農業機械大展示会
　　営農支援ブースの紹介

今月の気象（気象庁１０/１発表　１か月予報より）

今月も平年と比較して、気温が高く
日照時間は多くなる見込みです。
また天気は平年に比べ晴れの日が
多い予報ですが、最新の情報に
注意し、排水対策等を心がけましょう。



注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

営農情報　　令和８年１０月

Ⅰ. 園芸野菜　病害虫防除情報

ＪＡ全農ちば　営農支援課

１. はじめに

今年度は降水量が多く、日照時間の少ない状態が続いています。銚子地方気象台によると、千葉県は平年と比較し、降水量が多い地域では平年比３１１％となり、日照時間は少ない地域で平年比２６％となりました。病害の発生しやすい環境になるため、作物への影響が懸念されます。圃場を注意深く観察し、晴れ間の薬剤防除を心掛けましょう。

また、台風の発生・接近が連続しています。気象予報に留意して事前対策を心がけましょう。

２. キャベツ（菌核病、黒腐病・黒斑細菌病）

（１）菌核病　※本年多発生

菌核病は、結球はじめの頃、地面に近い下葉の基部に水浸状病斑を出しながらしおれます。病斑はやがて結球部に進展し、全体が柔らかくなります。発病部には写真のような白いかびを生じることがあります。

秋雨の時期に発病が増えるため、<u>今月は重要な防除時期</u>です。また、この時期の薬剤予防散布によって、今後の発生が抑制されます。薬剤散布の際は、葉裏（株元）付近にも薬液がかかるよう、丁寧に行いましょう。



菌核病の病斑

○キャベツ　菌核病　防除薬剤

FRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数	備考
12	セイビアーフロアブル 20	1000	収穫前日まで	3 回以内	予防
7	カナメフロアブル	4000	収穫前日まで	3 回以内	予防
2	ロブラール水和剤	1000	収穫 7 日前まで	4 回以内	予防・治療
11	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000	収穫 3 日前まで	3 回以内	予防・治療
7	パレード 20 フロアブル	2000	収穫前日まで	3 回以内	予防・治療△

※登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000 倍登録→1000 倍）

（２）黒腐病・黒斑細菌病　※本年多発生

黒腐病は葉縁部に葉脈を中心として外側に広がる V 字型の黄色病斑を生じます。被害茎葉の残さと共に土壌中で越冬し、細菌が降雨の飛沫により葉に付着するなどし、感染します。

黒斑細菌病は小斑点が広がり、褐色～黒褐色の病斑が生じます。土壌から風雨によって飛散し、水孔や害虫の食害、中耕等による傷口から侵入します。

春も発生しますが、特に秋に多発生します。菌核病同様、秋雨（台風）の時期に発病が増えるため、<u>今月は重要な防除時期です</u>。薬剤散布は、葉裏（株元）付近にも薬液がかかるよう、丁寧に行いましょう。

○キャベツ　黒腐病・黒斑細菌病　防除薬剤

FRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数	備考
M1	Z ボルドー	500	発病前～発病初期	―	予防
31+24	カセット水和剤	1000	収穫 7 日前まで	3 回以内	予防・治療
24+M1	カスミンボルドー	1000	収穫 7 日前まで	4 回以内	予防・治療

※登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000 倍登録→1000 倍）

※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます JA全農ちば 営農支援課

＜薬剤以外の防除＞
圃場環境を整え、病原の伝染環を断つことが重要です。
◆伝染源となる被害株を圃場から速やかに取り除く。
◆健全種子や抵抗性品種を利用する。
◆感染源となる傷口を作る害虫を防除する。
◆圃場の排水や土壌環境に注意する。

3. ネギ（さび病・べと病・黒斑病、シロイチモジヨトウ）

病害は多湿条件を好むため、降雨前には予防効果、降雨後は治療効果を持つ薬剤を使用しましょう。また、夜間の湿度が高い時期にも病害多発の恐れが高まります。天候に留意しながら防除を行いましょう。

（１） さび病

オレンジ色の隆起した斑点が生じます。潜伏期間が約二週間と長く、一度発生してからでは防除が困難な病害のため、予防主体の防除を行い、病斑が見られたら直ちに治療剤の散布に切り替えましょう。


さび病の病斑

（２） べと病

葉身が黄色くぼやけ、表面にはやがて灰暗色のカビが見られます。さらに進展すると、被害部から葉が折れてしまいます。多湿圃場では被害の急拡大に注意が必要です。


べと病の初期病斑

（３） 黒斑病

葉身に輪紋状の黒色病斑が生じ、やがて被害部から葉が折れてしまいます。多湿環境のほか、草勢が低下すると発生が助長されますので、肥切れに注意してください。


黒斑病の病斑

○ネギ　防除薬剤（　さび病：さ　べと病：べ　黒斑病：黒　）

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数	備考
べ	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000	収穫 14 日前まで	3 回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールドＭＺ	1000	収穫 14 日前まで	3 回以内	予防・治療
さ・べ・黒	11	メジャーフロアブル	2000	収穫前日まで	3 回以内	予防・治療
		アミスター20 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	2000	収穫 3 日前まで	4 回以内	予防・治療
	M3	ペンコゼブ水和剤	600	収穫 14 日前まで	3 回以内	予防
さ・黒	M7	ベルクート水和剤	2000	収穫 30 日前まで	3 回以内	予防
	3	オンリーワンﾌﾛｱﾌﾞﾙ	1000	収穫 14 日前まで	3 回以内	予防・治療
黒	2	ロブラール水和剤	1000	収穫 14 日前まで	3 回以内	予防・治療

※登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000 倍登録→1000 倍）

※　本資料の無断使用・複写・転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援課

（４）シロイチモジヨトウ

葉身などに卵を卵塊で産みつけ、ふ化した幼虫は集団で群生して食害をします。以下の薬剤は特に効果が高いですが、浸透移行性がないため薬剤がしっかりかかるような散布を心がけましょう。また、同じ系統の薬剤を連続で散布しないようにしましょう。



シロイチモジヨトウ幼虫



シロイチモジヨトウ成虫



食害痕

○ネギ　シロイチモジヨトウ 防除薬剤

IRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数
５	ディアナＳＣ	2500 倍	収穫前日	2 回以内
６	アニキ乳剤	1000 倍	収穫 3 日前	3 回以内
３０	グレーシア乳剤	2000 倍	収穫 7 日前	2 回以内
	ブロフレアＳＣ	2000 倍	収穫前日	3 回以内
ＵＮ	プレオフロアブル	1000 倍	収穫 3 日前	4 回以内

※登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000 倍登録→1000 倍）

4. ダイコン（軟腐病、ヨトウムシ）

（１）軟腐病（細菌性病害）※本年多発生

細菌による病害は降雨、多湿条件で発生しやすくなります。

軟腐病は、黒腐病のように根や葉が黒変せず、根頭部が汚白色、水浸状になり軟化腐敗します。その後、根や葉柄に進んで、やがて根の中心も軟化腐敗し悪臭を発します。土中の病原菌が降雨の飛沫により、害虫の食害痕や傷から侵入するため、根部に傷をつける害虫防除や排水対策、被害株の処分など、殺菌剤の散布以外の防除も心掛けましょう。



軟腐病　被害

○ダイコン　細菌性病害（　軟：軟腐病　細：黒斑細菌病　）

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数	備考
軟	U18	バリダシン液剤５	500	収穫 7 日前まで	4 回以内	予防・治療
細・軟	24＋M1	カスミンボルドー	1000	収穫 14 日前まで	3 回以内	予防・治療
	24＋31	カセット水和剤	1000	収穫 14 日前まで	3 回以内	予防・治療

※登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000 倍登録→1000 倍）

※　本資料の無断使用･複写･転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援課

（２）ヨトウムシ

ヨトウムシやハスモンヨトウは卵を１か所に 200～300 個の卵塊で産卵します。孵化した幼虫は、成長するにつれて食害量が増えるため、被害が急速に大きくなります。また、露地作物では生長点を食害されると欠株となってしまうため、特に早期防除が重要な害虫です。

○ダイコン　ヨトウムシ　防除薬剤

IRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数
４Ｅ	フィールドマストﾌﾛｱﾌﾞﾙ	4000 倍	収穫 3 日前	2 回以内
５	ディアナ SC	2500 倍	収穫前日	2 回以内
２２Ｂ	アクセルフロアブル	1000 倍	収穫 7 日前	2 回以内
２８	ベネビア OD	4000 倍	収穫前日	3 回以内
３０	ブロフレア SC	2000 倍	収穫前日	3 回以内
ＵＮ	プレオフロアブル	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内

※登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000 倍登録→1000 倍）



ヨトウムシ　被害



ヨトウムシ幼虫

※　本資料の無断使用･複写･転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援課

営農情報

令和８年１０月

Ⅱ. 果樹(ナシ)病害虫防除情報

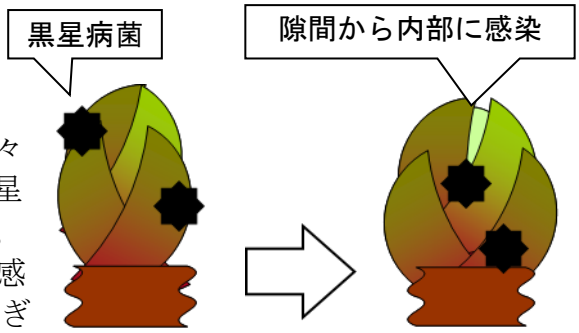
ＪＡ全農ちば　営農支援課

1. はじめに

黒星病は年間を通した防除が非常に重要な病害です。今年度は一部地域で黒星病、炭そ病の多発が確認されました。炭そ病、黒星病は落葉処理を適切に行わなかった場合、次年度多発する恐れがありますので、特に今年度上記２つの病気が多発した園では以下の秋防除を徹底しましょう。

2. 秋防除の目的

花芽は９月～１２月上旬にかけて、枝の上方から徐々にりん片がゆるみます。降雨があると、葉に残った黒星病菌が雨とともに枝を伝い、ゆるんだ芽に侵入します。ゆるみがピークとなる１０月中旬～１１月中旬は特に感染しやすい時期となるため、薬剤を散布して感染を防ぎます。



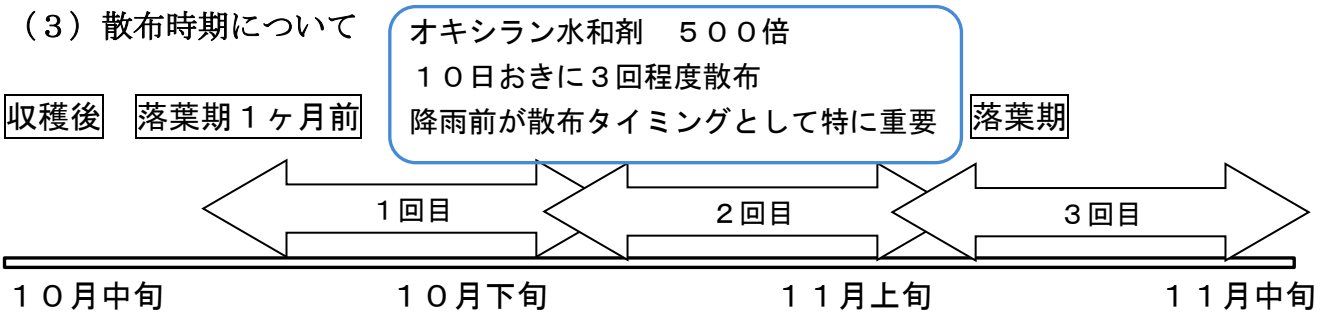
りん片がゆるみ内部組織が露出し、
黒星病菌に感染しやすくなります。

3. 秋防除のポイント

（１）落葉期１か月前～落葉期（１０月中旬～１１月中旬）に１０日間隔で２～３回、オキシラン水和剤 500 倍（収穫２１日前／９回以内）を散布して、りん片への黒星病菌の感染を防ぎましょう。また、特に降雨時に感染するため、降雨前に必要に応じて予防散布しましょう。
※落葉期の目安は全体の８割が落ちるまでです。

（２）散布量は 300L／10a を目安に、徒長枝に薬液が十分かかるようにしましょう。
※展着剤アビオンＥ（2000 倍）を加用すると耐雨性を高める効果があります。

（３）散布時期について



4. 落葉処理　**落葉は黒星病の伝染源です！　園周辺の落葉も処理しましょう！**

落葉を集めて焼却するか、土中に埋めます（胞子の飛散を防止）。ただし、炭そ病は土中に埋めても防除にはなりませんので、炭そ病発生園では確実に園外へ持ち出す必要があります。園の外周とネット下部にも落葉が溜まっています。熊手等で集めて処分しましょう。



落葉処理の様子

※　本資料の無断使用･複写･転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援課

営農情報

令和８年１０月

Ⅲ. 安全な農作物生産の取り組みについて

～農薬散布機は毎回洗浄しましょう～

ＪＡ全農ちば　営農支援課

1. はじめに

農薬残留基準超過の原因として、適用外使用（登録外作物への使用）や使用基準違反（使用時期、使用回数、使用方法）、周辺圃場または同一ハウス内隣接作物からのドリフト、農薬散布機（タンクやホース）の洗浄不足・不洗浄などが事例として多く挙げられます。今回は、農薬散布機の洗浄についてご紹介します。

2. 農薬散布機洗浄の重要性

一般的に農薬散布機は複数の作物に使用されます。農薬散布後の洗浄が不十分だと、散布機内に微量の農薬が残ってしまい、次に別の作物に農薬を散布した際に、予期していない適用外の作物にかかってしまう恐れがあります。農薬はごく微量でも適用外の作物に散布した場合、残留農薬が基準値を超過するリスクが非常に高くなります。農薬残留基準超過は食品衛生法違反です。最悪の場合、農産物の出荷停止や回収に繋がりますので、農薬散布機の洗浄は使用の都度行いましょう！！

3. 農薬散布機の洗浄のしかた

＜セット動噴の場合＞

①タンク内の洗浄



水を溜めてよく揺する！

②ストレーナーの洗浄



目詰まりが無いかよく確認！

③ホース内の洗浄



３回以上通水！

※ブラシを使って農薬汚れを確実に落としましょう！

＜背負い動噴の場合＞

①タンク内の洗浄



②フィルターの洗浄



③ホース内・ノズルの洗浄



農薬散布後は必ず洗浄しましょう！！



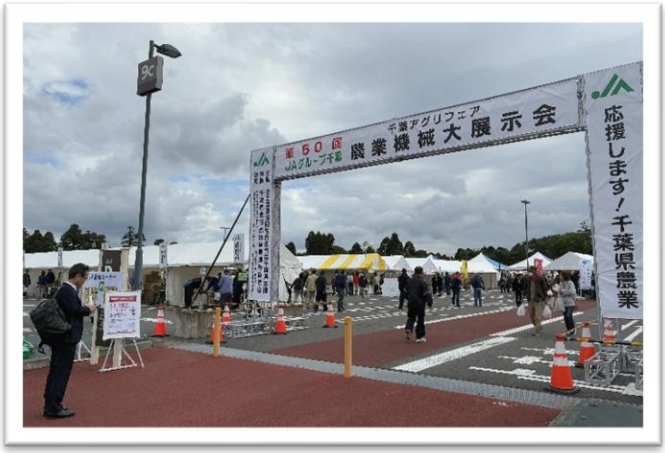
※　本資料の無断使用・複写・転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援課

営農情報　　令和８年１０月

第51回JAグループ千葉農業機械大展示会
営農支援ブースの紹介

ＪＡ全農ちば　営農支援課

１０月２３日（金）～１０月２４日（土）に酒々井プレミアムアウトレット（Ｐ９駐車場）にて開催される農業機械大展示会にて、営農支援ブースを開設します。ご来場の際は、ぜひお立ち寄りください。





第 50 回農業機械大展示会の様子

主な展示内容について概要を紹介します。

〇スマート農業技術を活用した営農支援ツールについて
- ・営農管理システム「Ｚ－ＧＩＳ」
- ・栽培管理支援システム「ザルビオフィールドマネージャー」の紹介
  ブースではデモ機にて実際の操作を体感できます。

〇水稲省力・低コスト技術について
- ・水稲鉄コーティング湛水直播栽培や「リゾケア」（水稲直播コーティング技術）の紹介

〇水稲育苗ハウスや遊休ハウスの有効活用について
- ・「うぃずＯｎｅ」　（養液栽培システム）を使用したミニトマト「アンジェレ」の栽培実証圃の取組みについて紹介

〇優良種苗生産・供給の取組みについて
- ・「さつまいも」「いちご」品種特性などの紹介

〇土壌診断に関する相談コーナーについて
- ・土壌診断結果をもとにした適正施肥のススメ
  （処方箋お持ちの方はご持参ください）

〇食の安心・安全について
- ・安全な農産物生産の取組みについて紹介

〇IPMについて
- ・バンカーシートなど天敵について紹介

〇「食育」について
- ・落花生のジオラマ展示　など



※　本資料の無断使用･複写･転載を禁じます　JA全農ちば　営農支援課